

1回15分で

英語を読み書きする力が  
どんどん身につく



## 解答 & 教師用指導書

### この教材について

『英語の読み書きドリル』は、学習したことを試すための教材ではありません。本書に取り組む過程で、アルファベット、ヘボン式ローマ字、音とつづりの関係について学習し、身につけていくことを目的としています。

本書を指導することを通して、先生方にはアルファベット、ヘボン式ローマ字、音とつづりの関係について知り、英語力やそれらを指導する力を養っていただきたいと思っています。この教師用指導書を参考に、発音のポイントについて知ったり、15分を効果的に活用するための時間配分をしたり、添削や評価のしかたについて工夫したりしましょう。

### この教材の使い方



- 机間指導をしっかりと行い、まちがいがやすい文字をチェックしたり、個人の書き方の癖を指導したりしましょう。
- 答え合わせは○×をつけるにとどまらず、児童に深く理解させられるよう丁寧に指導しましょう。
- 友達とチェックさせ合うときは、お互いに本を交換させ、気付いたことを伝え合わせたり、問題を出し合わせたりすることで、児童に「みんなで楽しく学習し、スキルを身につける」という意識を持たせることが効果的です。
- 「終わったらやろう」は、各大問で早く終わってしまった児童のための追加問題としてお使いください。



# 大文字・小文字を書こう(2)

Date: / /

G/g から L/l のアルファベットを正しく書けるようになるよう。書き順と書く位置に気をつけよう。

1 まず先生の書き順をよく見よう。そのあと、お手本を見ながら 1 回なぞり、2 回書こう。

## ① 大文字 (G ~ L)

GG	HH	II	JJ	KK	LL
GG	HH	II	JJ	KK	LL

## ② 小文字 (g ~ l)

gg	hh	ii	jj	kk	ll
gg	hh	ii	jj	kk	ll

### 文字の形を見くらべてみよう

漢字やひらがなと同じように、アルファベットにもいろんな形があります。英語を勉強するときは、書きやすく読みやすいこの形で練習しましょう。



## 📎 終わったらやろう

2 大文字の G ~ L、小文字の g ~ l を、たくさん書いて練習しよう。

Blank lines for handwriting practice.

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Dotted lines for note-taking.

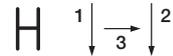
# 🕒 TIME SCHEDULE

0	あいさつ・この教材の使い方	3分
5	大問 1 (・2)	9分
10		
	友達とチェック	2分
15	まとめ	1分

指導の手順

- この教材の使い方を再確認する
- G/g から L/l までの発音を確認する  
J: 「ジェー」ではなく「ジェイ」。  
K: 「ケー」ではなく「ケイ」。
- 大問 1 をさせる

アルファベットはタテ(↓)から書き始め、ヨコ(→)があとになることを再確認する。



1 文字ずつ書き順を教え、1 つなぞり、2 つ自分で書かせたら、次の文字に進む。小文字はより丁寧に指導する。

h: 大文字の H の上の部分が消えた形。 } → H  
g: 一番下の線までしっかり伸ばす。  
j: " "

### 声のかけかた

4 線とぶつかるまで、しっかり大きく書きましょう。



## ④ 文字の形を比べさせる

印刷される文字にはいろいろな形があること、勉強するときは、学校で習う文字(ブロック体)を書くことを話す。

## ⑤ 友達とチェックさせ合う

残り 3 分になったら、近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。(進んでいる児童は大問 2 も)

### 声のかけかた

友達のために、お手本と合っているかよく見てマルをつけてあげましょう。



# 大文字・小文字を書こう(4)

Date: / /

T/t から Z/z のアルファベットを正しく書けるようになるよう。書き順と書く位置に気をつけよう。

1 まず先生の書き順をよく見よう。そのあと、お手本を見ながら1回なぞり、2回書こう。

① 大文字(T~Z)

② 小文字(t~z)

小文字のuにはしっぽがあるよ

この書き順できれいに書こう

一筆で書こう

## 大文字と小文字をきちんと書こう

アルファベットには、大文字と小文字の形がほとんど同じものもあります。書くときは、大きさのちがいをしっかり意識しましょう。

Cc Oo Ss Vv Ww Xx Zz

大文字と小文字で、形がほとんど同じだね



終わったらやろう

2 大文字のT~Z, 小文字のt~zを、たくさん書いて練習しよう。

Blank handwriting practice lines for uppercase and lowercase letters.

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Handwriting practice lines for the note section.

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	3分
5	大問 1 (・2)	9分
10	友達とチェック	2分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 T/t から Z/z までの発音を確認する

V: 「ヴィー」。下唇を軽く噛んで息と声を出す。

Z: 「ズイー」。上下の歯の間隙から息と声を出す。「s」の音の有声音。「g」(「ジー」)との音のちがいに気付かせる。「g」は、舌の先を上歯茎に付けて離すときに声を出す。

## 2 大問 1 をさせる

1文字ずつ書き順を教え、1つなぞり、2つ自分で書かせたら、次の文字に進む。

声のかけかた

見た人が読みやすい、きれいなアルファベットを書くために、書き順に気を付けましょう。

V 1 2 / W 1 2 / 3 4 /

Vは、一筆で書くと大文字の場合にはU、小文字の場合にはrに似た形になってしまいやすいため、2画に分けてしっかり書きましょう。

## 3 「大文字と小文字をきちんと書こう」を確認する

大文字と小文字で形がほとんど同じものは特に、はっきりと書き分けるように注意させる。

x o o    x o o  
C C c    W W w

## 4 友達とチェックさせ合う

残り3分になったら、近くの友達と本を交換させ、チェックさせ合う。

声のかけかた

友達のために、お手本と合っているかよく見てマルをつけてあげましょう。





# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	4分
	先生と答え合わせ	2分
10	大問 2・3 (・4)	4分
	友達とチェック	2分
15	まとめ	1分

指導の手順

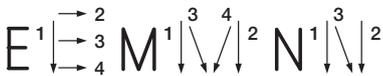
## 1 A/a から N/n までの発音を確認する

- A: 「エー」ではなく「エイ」。
- F: 下唇を軽く噛んで出す音を確認する。
- L: 舌を上の前歯の裏につける。



## 2 大問 1 をさせる

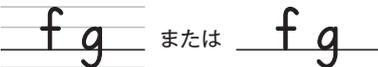
- E: 書き順を思い出させる。
- M: “ ”
- N: “ ”



- b: 大文字の「B」と同じ向き。
- d: 小文字の「a」の背が高いもの。
- f: 線に合わせて書けているかチェックしてまわる。
- g: “ ”

## 3 答え合わせをする

黒板に引いた4線(または1線)の上に、正しい書き順でお手本を書いていく。



## 4 大問 2 と 3 をさせる

## 5 友達とチェックさせ合う

残り3分になったら、近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

### 声のかけかた

友達のために、しっかり丁寧にチェックしてあげましょう。気付いたことは書きとめてあげましょう。



## Alphabet 7

# 大文字・小文字をおさらいしよう(1)

Date: / /

A/a から N/n までの大文字と小文字を識別できるようになろう。

1 あいているところに、アルファベットを順に書きこもう。

① 大文字 (A ~ N)

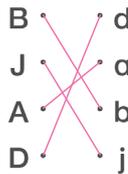


② 小文字 (a ~ n)



2 大文字と小文字を——で結ぼう。

①



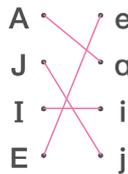
②



③



④



3 あいているところにアルファベットを書いて、大文字と小文字のペアを作ろう。



終わったらやろう

4 大文字の A ~ N, 小文字の a ~ n を、書いて練習しよう。

Blank handwriting practice lines for independent practice.

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Handwriting practice lines for notes.

## 大文字・小文字をおさらいしよう (2)

Date: ○ / ○

O/o から Z/z までの大文字と小文字を識別できるようになろう。

1 あいているところに、アルファベットを順に書きこもう。

① 大文字 (O ~ Z)

O P Q R S T U V W X Y Z

② 小文字 (o ~ z)

o p q r s t u v w x y z

2 大文字と小文字を— で結ぼう。

①	S v W w V t T s	②	Q p P q R r Y y	③	W u U w V r R v	④	Y y U v V r R u
---	--------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------

3 あいているところにアルファベットを書いて、大文字と小文字のペアを作ろう。

S s	V v	P p	W w	U u
R r	Q q	Y y	T t	Z z

4 あいているところに、アルファベットを書きこもう。

Aa Bb Cc Dd Ee Ff

Gg Hh Ii Jj Kk Ll Mm Nn Oo Pp

Qq Rr Ss Tt Uu Vv Ww Xx Yy Zz

**NOTE to SELF** | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

## 🕒 TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	4分
	先生と答え合わせ	2分
10	大問 2・3・4	4分
	友達とチェック	2分
15	まとめ	1分

指導の手順

### 1 O/o から Z/z までの発音を確認する

- O: 「オー」ではなく「オウ」。
  - V: Bとのちがいに気付かせる。Bは破裂音(口を閉じて息をとめたあと、その閉鎖を破って出す音)。Vは摩擦音(下唇を軽く噛んで出す音)。
  - Z: Gとのちがいに気付かせる。
- ★ ABC SONG 🎵を歌ってもよい。

### 2 大問 1 をさせる

V, W の書き順に注意する。

V <sup>1</sup> ↓ <sup>2</sup> / W <sup>1</sup> ↓ <sup>2</sup> / <sup>3</sup> ↓ <sup>4</sup> /

### 3 答え合わせをする

黒板に引いた4線(または1線)の上に、正しい書き順でお手本を書いていく。

p q r または p q r

### 4 大問 2・3・4 をさせる

### 5 友達とチェックさせ合う

残り3分になったら、近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

**声のかけかた**

友達のために、しっかり丁寧にチェックしてあげましょう。気付いたことは書きとめてあげましょう。









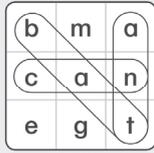
# Break Time ①

単語探しゲームに挑戦しながら、アルファベットの形に慣れよう。

①例にならって、①～⑮の単語を見つけて○で囲もう。

例

- ・ bat
- ・ can
- ・ ant



見つけた単語を  
先生といっしょに  
読んでみよう

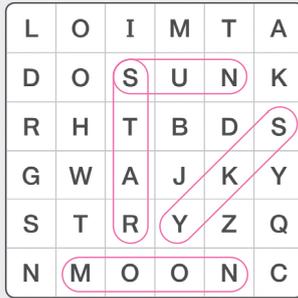


Date: ○ / ○ / ○

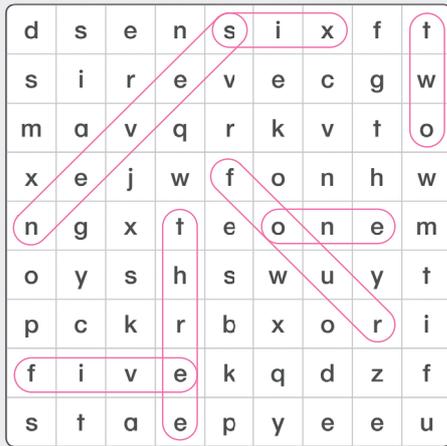
- ① go
- ② walk
- ③ run
- ④ stop



- ⑤ SUN
- ⑥ STAR
- ⑦ MOON
- ⑧ SKY



- ⑨ one
- ⑩ two
- ⑪ three
- ⑫ four
- ⑬ five
- ⑭ six
- ⑮ seven



## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	①～⑧	4分
10	先生と答え合わせ	1分
15	⑨～⑮	5分
	友達とチェック	2分
	まとめ	1分

指導の手順

### ① やり方を説明する

例を使ってやり方を説明する。また、見つけた単語の意味を確認する。

bat：コウモリ、(野球の)バット

can：缶、～できる

ant：アリ

### ② ①から⑧までの単語をそれぞれ探させる

なるべく友達と教え合わずにやるよう励ます。

声のかけかた

できた人は、見つけた単語をどう読むか、考えてみてくださいね。

黒板にパズルを書き写して、みんなで答え合わせをする。児童を前に出し、○で囲ませてもよい。

### ③ ⑨から⑮までの単語をそれぞれ探させる

5分程度で行わせる。

### ④ 友達とチェックさせ合う

近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



# 大文字・小文字をおさらいしよう(5)

Date: / /

先生や友達が言うアルファベットの音を聞いて、正しいアルファベットが書けるようになるよう。  
相手に伝えるアルファベットの発音ができているか確認しよう。

1 ABC SONG ♪ を歌おう。

2 先生が言ったアルファベットを小文字で書き、ペアの大文字と——で結ぼう。

1	2	3	4	5	6	7	8
a	p	h	b	q	s	o	d
B	P	H	S	A	D	O	Q
9	10	11	12	13	14	15	16
l	t	m	k	w	n	f	g
T	K	L	W	M	F	G	N

3 友達が言ったアルファベットを小文字で書き、ペアの大文字と——で結ぼう。

問題を出す人は、下に書いてある大文字の中からアルファベットを選び、はっきりと2回くり返して言ってあげよう。1問ずつ交互に出し合おう。

1	2	3	4	5	6	7	8
□	□	□	□	□	□	□	□
G	U	R	E	D	L	I	T

4 友達が言ったアルファベットを○で囲もう。

問題を出す人は、2つのアルファベットのうち好きなほうを選び、はっきりと2回くり返して言ってあげよう。1問ずつ交互に出し合おう。

1	2	3	4	5
k a	l m	s f	t d	b v
6	7	8	9	10
g z	b d	f e	l r	m n

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
	ABC SONG	1分
5	大問 2 ・先生と答え合わせ	5分
10	大問 3・4 ・友達とチェック	6分
15	まとめ	1分

指導の手順

### 1 ABC SONG ♪ を歌う

### 2 大問 2 をさせる

- (1) 指導書の解答部分に書かれているアルファベットを順に読み上げ、児童に小文字を書かせ、ペアになる大文字と線で結ばせる。

出題のしかた

Number one. a[éi]. a[éi].

Write the letter and draw a line to the capital letter. OK?

数秒

Now, number two. p[pí:]. p[pí:].

- (2) ①～⑧が終わったら、答え合わせをする。

答え合わせのしかた

“Number one. What alphabet?”

とたずね、黒板に小文字を書く。その下に大文字を書き、正しく線で結べているかを確認させる。

- (3) ⑨～⑯も同様に行う。

### 3 大問 3 をさせる

- 友達とお互いに1つずつ問題を出し合うよう指示する。

指示のしかた

例えば、問題を出すほうの人が“Number one. u. u.”と言ったら、出されたほうの人も出したほうの人も、1の解答欄に小文字でuと書き、大文字のUと線で結びましょう。8まで出来たらお互いにチェック合いましょう。

### 4 大問 4 をさせる

- 同じ要領で、お互いに問題を出させる。





# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	3分
10	大問 2 (・3)	7分
15	友達とチェック	2分
	まとめ	1分

指導の手順

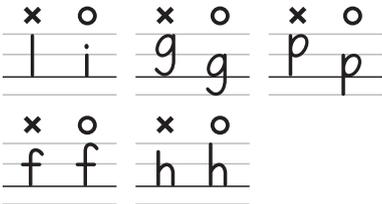
## 1 大問 1 をさせる

フキダシの内容をよく確認しながら書くよう指示する。

## 2 大問 2 をさせる

- ①～⑨の単語の意味を確認する。
- ①～⑨までまとめて書かせてから答え合わせをするか、途中で止めながらするかは、児童の様子によって判断する。
- 机間指導をしながら、書く位置・書き順をチェックしてまわる。

【特にまちがいがしやすい文字】



(4) 友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

### 声のかけかた



小文字は、大文字とちがって文字によって書く位置がちがうので、ゆっくり丁寧にマルつけをしてあげましょう。気付いたことがあれば、コメントを書いてあげましょう。

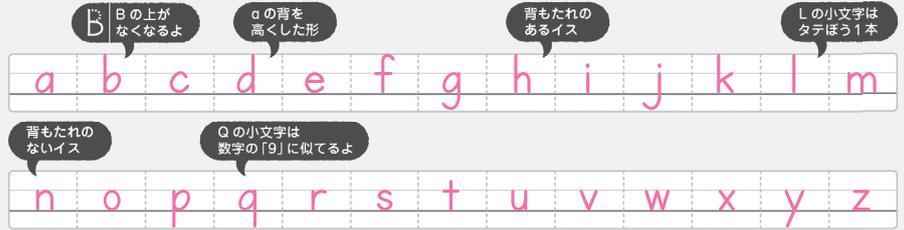
## Alphabet 15

### 単語を書こう (3)

Date: ○ / ○

大文字と小文字を自由に使いこなせるか確認しよう。

1 先生といっしょに確認しながら、小文字 a～z をていねいに書こう。



2 大文字を小文字にかえて書こう。



終わったらやろう

3 2の単語を小文字で書き写そう。


## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---









# ローマ字を書こう(1)

ヘボン式ローマ字を正しく書けるようになる。

Date:    /    /   

1 国語で習った表記法(訓令式)とちがう書き方をする文字を確認し、2回ずつ書こう。

読み方	シ	チ	ツ	フ	ジ	ヂ	シャ	シュ	ショ
訓令式	si	ti	tu	hu	zi	ji	sha	shu	sho
ヘボン式	shi	chi	tsu	fu	ji	ji	sha	shu	sho

読み方	チャ	チュ	チョ	ジャ	ジュ	ジョ
訓令式	tya	tyu	tyo	zya	zyu	zyo
ヘボン式	cha	chu	cho	ja	ju	jo



b, p, mの前では「ん」はmになるよ

2 ヘボン式ローマ字を書き写そう。

① すし sushi	② 茶わん chawan	③ なっとう 納豆 natto	④ 天ぷら tempura
⑤  Tokyo	⑥  Yokohama	⑦  Fussa	⑧  Kokkai-gijido

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	5分
10	大問 2・先生と答え合わせ	7分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

- 左ページのローマ字表を見ながら、ヘボン式ローマ字を復習する。
- 訓令式とヘボン式で異なる表記をする文字を確かめながら、2回ずつ書いて練習させる。

## 2 大問 2 をさせる

- 英文の中で日本の食べ物や文化を表すときはローマ字を使う、ということの説明する。
- 「ん」は「n」で表すが、「tempura(天ぷら)」のように、bやpやmの前の「ん」はmで表す、ということを確認する。

【理由】

bやpやmは、発声の直前に唇を閉じなければ出せない音(→ p.29, p.30参照)。一方、n(→ p.30参照)は唇を開いた状態で発声する音であるため、「tenpura」より「tempura」と文字を綴るほうが、すぐあとのpを自然に発音しやすくなるから。

- 人名、地名、建物名など固有名詞を表記する場合は、最初の文字を大文字にする、ということを確認する。また、⑤～⑧は、それぞれの地名や建物名の読み方やそれがあある場所などについて確認する。

【福生(ふっさ)】

東京都の西部にある市の名前。

- ①～⑧をヘボン式ローマ字で正しく書き写させる。
- 黒板に引いた4線(または1線)の上に答えを書き、答え合わせをする。

sushi または sushi

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1・2	4分
10	大問 3 (・4)	6分
15	先生と答え合わせ	2分
	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1・2 を書かせる

p.22のへボン式ローマ字表を見ながら自分の名前をローマ字で書かせる。

- (1) 姓→名の順で書くこと、それぞれの最初の文字は大文字で書くことを伝える。
- (2) 机間指導をしながら、まちがいがないか確認する。

### 【表記を迷いやすい例】

- ・「ゆうぎ」「ようこ」「りょう」など伸ばす音が「う」の場合の表記はそれぞれ「Yuki」「Yoko」「Ryo」となり、「u」の文字は入れないのが一般的。
- ・「いいだ(飯田)」「いいし(石井)」など伸ばす音が「い」の場合の表記はそれぞれ「Iida」「Ishii」となり、「i」の文字を入れる。
- ・「おおた(太田)」「おおもり(大森)」など伸ばす音が「お」の場合の表記は3通りある。  
おおた：Ohta / Ota / Oota  
おおもり：Ohmori / Omori / Oomori

## 2 大問 3 を書かせる

- (1) ⑤～⑫は人名・地名ではないので、最初の文字も小文字で書く、ということに気付かせる。
- (2) 書き方が曖昧になりやすいところを指摘しながら答え合わせをする。

×

furoshiki

○

furoshiki

## Romaji 3

### ローマ字を書こう(2)

へボン式ローマ字で、自分の名前・日本の有名な地名・日本のものを表す語などを書けるようになろう。

Date: / /

1 へボン式ローマ字で、自分の名前を書こう。

Akita Yuko [記入例]

姓と名の最初は大文字で書こう

○ Aoki Emi × aoki emi

P.22のローマ字表を参考にしましょう。訓令式とちがう書き方に注意してね



2 自分の名前を何度も書いて練習しよう。

Blank lines for practicing writing one's name in Roman letters.

3 次の日本語を、へボン式ローマ字で書こう。

1 東京 <small>とうきょう</small>	2 大阪 <small>おおさか</small>	3 千葉 <small>ちば</small>	4 九州 <small>きゅうしゅう</small>
Tokyo	Osaka	Chiba	Kyushu
5 折り紙 <small>おがみ</small>	6 けん玉	7 柔道 <small>じゅうどう</small>	8 風呂敷 <small>ふろしき</small>
origami	kendama	judo	furoshiki
9 焼きそば <small>やきそば</small>	10 空手 <small>からて</small>	11 忍者 <small>にんじや</small>	12 手裏剣 <small>しゅりけん</small>
yakisoba	karate	ninja	shuriken

終わったらやろう

4 先生や友達、家族の名前をへボン式ローマ字で書いてみよう。

Blank lines for practicing writing names of teachers, friends, and family in Roman letters.

## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Dotted lines for taking notes during the lesson.

Phonics 1

母音を聞きとろう(1)

アルファベットの「音読み」について理解し、a, e, o の3つの母音をマスターしよう。

Date: / /

Three boxes for phonics: 'a' (「エ」の口の形で「ア」), 'e' (日本語の「エ」に近い音), 'o' (口の奥をまるく開いて「ア」)

1 発音を聞いて、a, e, o のいずれかを に書こう。

16 numbered items with illustrations and words like dog, cat, pen, map, bed, jam, egg, ant, lemon, hat, corn, apple, soccer, family, box, Japan.

2 1の単語を書き写そう。

Blank lines for writing the words from section 1.

DVD の使い方

Table with 3 columns: 担任の活動, 児童の活動, DVD (ALT の発話). Rows include '本時のめあて', '先生と子どもと一緒に', 'ひとりりで', 'チャレンジ'.

TIME SCHEDULE

Vertical timeline showing 15 minutes of lesson structure: あいさつ (1分), 音とつづりの関係についての説明 (3分), 大問 1 (・2) (7分), 先生と答え合わせ (3分), まとめ (1分).

1 音とつづりの関係について説明する

(1) 漢字に音読みと訓読みがあるように、アルファベットの文字には「アルファベット読み」と「音読み」がある。

板書のしかた

Boardwork example for '音' showing Japanese characters and their corresponding English letters (a, e, o).

例えば、a は [éi] と発音する場合、[æ] と発音する場合がある。

【例】 [éi] ... April (4月)
[æ] ... apple (リンゴ)

(2) アルファベットの音は、母音(ア・イ・ウ・エ・オに近い音)と子音に分けられる。

板書のしかた

Boardwork example for '母音' and '子音' with examples like a, i, u, e, o.

今回は母音のうちの a, e, o について学習する。

2 大問 1を進める(↓参照)





# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1 (・2)	4分
	友達とチェック	1分
10	大問 3	7分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1 (・2) をさせる

- (1) ①～⑤の単語の意味を確認する。
- (2) ①～⑤の単語をすべて大文字に書きかえてから、右の単語探しをするよう指示する。

### 声のかけかた

大問 1 が終わった人は、大問 2 に挑戦してみてくださいね。

- (3) 児童の様子を見ながら一度手を止めさせ、友達と答え合わせをさせる。

★ 大問 2 が終わっていても、時間がきたら大問 3 に進む。

## 2 大問 3 をさせる

- (1) 5つの単語を、好きな場所に小文字で埋めさせる。

### 声のかけかた

タテ、ヨコ、ナナメのどの向きに書いても構いませんが、単語が途中で曲がったり、右から左に書いたりはしないようにしましょう。

d			c
o	g	a	
	t		
w	o	c	

- (2) 残ったマスに、任意のアルファベットを小文字で入れて完成させる。
- (3) 友達と本を交換させて解かせる。

## Break Time 4

Date:  /  /

単語探しゲームに挑戦しながら、大文字・小文字を忘れないように確認しよう。

1 ①～⑤の単語を大文字に書きかえてから、それを見つけて  で囲もう。

- ① ham →  HAM
- ② tomato →  TOMATO
- ③ onion →  ONION
- ④ cheese →  CHEESE
- ⑤ pizza →  PIZZA



2 ①～⑤の単語を小文字に書きかえてから、それを見つけて  で囲もう。

- ① PEACH →  peach
- ② CHERRY →  cherry
- ③ KIWI →  kiwi
- ④ GRAPES →  grapes
- ⑤ FRUIT →  fruit



3 パズルを作って友達と遊ぼう。

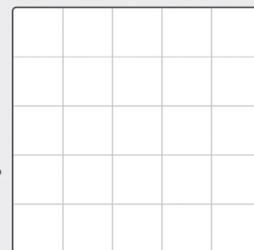


① 次の5つの単語を好きな  に1文字ずつ書こう。

dog cat cow pig lion

② 残りの  にいろいろなアルファベットを小文字で書こう。

③ 本を友達と交換して、①の単語を見つけよう。



## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---









# Break Time 5

Date: / /

世界の国の名前を英語で読んだり書いたりしながら、できるようになったことを実感しよう。

1 どこ国の名前かな？ 国を表す単語と国旗を線で結ぼう。

[dʒəpæn] Japan [brɛzɪl] Brazil [jʊː.éséi] USA [tʃáinə] China [jú:kéi] UK

ブラジル カナダ 日本 インド アメリカ イギリス 韓国 中国 イタリア

Canada [kænədə] Korea [kəri:ə] Italy [itəli] India [india]

2 次の国の名前を、1から探して書き写そう。

① 日本 ② アメリカ ③ インド ④ イギリス ⑤ ブラジル

Japan USA India UK Brazil

⑥ 中国 ⑦ 韓国 ⑧ イタリア ⑨ カナダ

China Korea Italy Canada

3 アルファベットをおさらいしよう。

① Aa から Zz まで、大文字と小文字のペアをていねいに書いて確認しよう。

Aa Bb Cc Dd Ee Ff Gg Hh Ii

Jj Kk Ll Mm Nn Oo Pp Qq Rr

Ss Tt Uu Vv Ww Xx Yy Zz

② 自分の名前や友達の名前を書こう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1・先生と答え合わせ	4分
10	大問 2・先生と答え合わせ	3分
15	大問 3・友達とチェック	5分
	まとめ	1分

指導の手順

### 1 大問 1 をさせる

- (1) それぞれの国旗がどこの国のものかを確認する(ページ内参照)。
- (2) 国名を表す単語と国旗を線で結ばせる。
- (3) 国名を英語で言いながら、口頭で答え合わせをする。その際、アクセントの位置に注意する(ページ内参照)。

### 2 大問 2 をさせる

- (1) 国名は、最初の文字を必ず大文字で書くことを意識させる。
- (2) 黒板に答えを書いて、答え合わせをする。児童を前に出して書かせてもよい。

### 3 大問 3 をさせる

書き終わったら、近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

#### 声のかけた

4 線に合わせてきちんと書けているか、読みにくい文字がないか、丁寧にチェックしてあげましょう。気付いたことはコメントを書いてあげるといいですね。



### ★ 時間が余ったら

下の①～⑧の国名・地名を黒板に書き、どこを表しているかを考えさせる。

- ① France [fræns] フランス
- ② Nagoya [negóujə] 名古屋
- ③ London [lʌndən] ロンドン
- ④ Egypt [i:dʒipt] エジプト
- ⑤ Russia [rʌʃə] ロシア
- ⑥ Indonesia [indəní:ʒə] インドネシア
- ⑦ Singapore [sɪŋgəpɔ:] シンガポール
- ⑧ San Francisco [sæn frɛnsískou] サンフランシスコ





# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
	大問 1	2分
5	大問 2	3分
	大問 3	4分
10	先生と答え合わせ	1分
15	1年間のまとめ	3分

指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

児童全員とともに、それぞれどんな単語になるかを絵を見て1つずつ確認しながら進めていく。

## 2 「母音と子音を確認しよう」で音を確認する

a から z まで1文字ずつ、「アルファベット読み」と「音読み」をおさらいする。

### 声のかけかた

上の段の左からいきましょう。

[éi]---[æ], [í:]---[e], [á:]---[i],  
[óu]---[o], [jú:]---[ʌ].

この5つは母音でしたね。では下の段にいきます。[bí:]---[b], ...

## 3 大問 2 をさせる

児童全員とともに、それぞれどんな単語になるかを絵を見て1つずつ確認しながら進めていく。

### 声のかけかた

教師：Dog. d. o. g. 空欄にはoが入りましたね。ではdogの3文字のうち1文字だけをかえて  
Dot, d. o. t. What alphabet?

児童：T!

教師：Yes. Next. Dot の3文字を1文字だけ変えてPot, p. o. t. What alphabet?

児童：P!

## 4 大問 3 をさせる

(1) ①のみ全員で考え、②～⑦は各自で挑戦させる。

(2) 3分経ったら黒板に引いた4線(または1線)の上に答えを書いて答え合わせをする。児童を前に出して書かせてもよい。

## Phonics 10

### 音とつづりの関係のまとめ

Date: / /

単語を作るゲームに挑戦しながら、音とつづりの関係を理解できたか実感しよう。

1 絵を見て、a, e, i, o, u のいずれかを□に書こう。

1 	2 	3 	4 	5 
<b>b</b> <b>u</b> <b>s</b>	<b>h</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>d</b>	<b>p</b> <b>i</b> <b>g</b>	<b>p</b> <b>o</b> <b>t</b>	<b>e</b> <b>g</b> <b>g</b>
[bʌs]	[hænd]	[pig]	[pát]	[ég]

母音と子音を確認しよう

ほいん しん [æ] [e] [i] [a] [ʌ]

母音と子音を確認しよう

a e i o u

b c d f g h j k l m n p q r s t v w x y z

[b] [k] [d] [f] [g] [h] [dʒ] [k] [l] [m] [n] [p] [k] [r] [s] [t] [v] [w] [ks] [j] [z]

2 絵に合う単語になるように1文字ずつかえていこう。

1 	<b>d</b> <b>o</b> <b>g</b> [dó(:)g]
2 	<b>d</b> <b>o</b> <b>t</b> [dát]
3 	<b>p</b> <b>o</b> <b>t</b> [pát]
4 	<b>h</b> <b>o</b> <b>t</b> [hát]
5 	<b>h</b> <b>a</b> <b>t</b> [hæt]
6 	<b>c</b> <b>a</b> <b>t</b> [kæt]
7 	<b>c</b> <b>a</b> <b>p</b> [kæp]
8 	<b>m</b> <b>a</b> <b>p</b> [mæp]

3 絵に合う単語になるように文字をならべかえよう。

1 	<b>x</b> <b>s</b> <b>i</b> → <b>s</b> <b>i</b> <b>x</b> [siks]
2 	<b>a</b> <b>g</b> <b>b</b> → <b>b</b> <b>a</b> <b>g</b> [bæg]
3 	<b>r</b> <b>s</b> <b>t</b> <b>a</b> → <b>s</b> <b>t</b> <b>a</b> <b>r</b> [stá:r]
4 	<b>a</b> <b>k</b> <b>b</b> <b>n</b> → <b>b</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>k</b> [bænk]
5 	<b>m</b> <b>k</b> <b>i</b> <b>l</b> → <b>m</b> <b>i</b> <b>l</b> <b>k</b> [milk]
6 	<b>a</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>d</b> <b>p</b> → <b>p</b> <b>a</b> <b>n</b> <b>d</b> <b>a</b> [páende]
7 	<b>o</b> <b>o</b> <b>a</b> <b>m</b> <b>t</b> <b>t</b> → <b>t</b> <b>o</b> <b>m</b> <b>a</b> <b>t</b> <b>o</b> [temítou]

今日とPhonicsも卒業です、これからも楽しく勉強していきましょう



## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

### 1年間のまとめかた

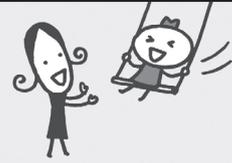
- (1) アルファベット、ローマ字、音とつづりの関係について一年間学習を続けてきたことを評価する。
- (2) 本書の序盤のページと現在のページを比較させ、上手に書けるようになったことを実感させる。
- (3) 児童から感想を聞き、次年度への学習意欲を高める。







Extra lines



## 練習するときに使おう

Date:  /

12 sets of horizontal writing lines for practice.

### NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Dotted lines for taking notes.